

主要事業の概要

現行FIT制度の期間中において、老朽化した発電所の大規模改修、出力増強工事及び新規発電所の建設を着実に推進し、経営の安定と再生可能エネルギーの更なる拡大に努めます。

(消費税込み)

	業 務 量 等		主 要 事 業
	H31年度要求	H30年度当初	
発 電 所	16所	16所	○水力発電設備整備費（調査費を除く。） 3,257,758千円
最 大 出 力	100,498kW	100,210kW	・大規模改修工事（西天竜発電所） ・出力増強工事（裾花発電所）
年間販売電力量	335,965千kWh	353,253千kWh	・県管理ダムを活用した新規3発電所建設 （横川蛇石、信州もみじ湖、くだもの里まつかわ）
料 金 収 入	3,756,561千円	3,862,418千円	・小渋第2発電所構内地点未利用エネルギー活用 ・ <b>○新</b> 次世代施設運転管理制御システムのあり方検討
建 設 改 良 費 (債務負担行為設定額)	3,338,565千円 (29,380,425千円)	1,556,772千円 (341,996千円)	○新規電源開発地点調査費 44,000千円 ○債務負担行為設定額 29,380,425千円 ・ <b>○拡</b> 大規模改修 26,084,795千円 （美和、春近、与田切、西天竜発電所） ・ <b>○拡</b> 新規発電所建設 2,446,730千円 （与田切上流地点、県管理ダム活用3発電所） ○水素ステーション実証モデル事業 46,638千円